

## 株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

当社第120期上半期(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)の中間報告書をお届けするに当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、輸出や生産の拡大を背景に企業収益や設備投資が改善するとともに、記録的な猛暑やアテネ五輪の開催などにより、家電製品などの購買が促進され、個人消費も回復傾向を示すなど、景気は回復軌道をたどりつつ推移いたしました。

このような経済環境のもとで当社は、多様・高度化する市場に対応し、海外における表面処理加工事業の展開とグループ企業の連携をより一層強化するとともに、新規開発技術の市場浸透や製品・加工技術の差別化を推進してまいりました。また、北海道地区における当社グループ会社の事業統合をおこない、経営資源の最適化をはかるとともに、事業全般にわたるコスト低減活動を推進し、企業体質の強化と収益の向上に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は19,629百万円(前年同期比14.1%増)となり、営業利益は1,791百万円(前年同期比50.4%増)、経常利益は2,641百万円(前年同期比54.1%増)となりました。また、中間純利益に关しましては、1,314百万円(前年同期比29.2%増)となりました。

各部門の概況は次のとおりであります。

### (薬品部門)

薬品部門は、主要原材料の価格高騰による影響を受けましたが、輸出の増加などから鉄鋼・自動車業界向けの需要が好調に推移するとともに、高付加価値製品や環境対応製品の市場展開も進展し、主力の金属表面処理剤の販売が順調に推移いたしました結果、当部門の売上高は10,718百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

### (防錆加工部門)

防錆加工部門は、鉄鋼・輸送機器業界向け防錆・潤滑処理加工などの受注が堅調に推移するとともに、市場開拓による新規処理加工部品の受注も増加いたしました結果、当部門の売上高は2,048百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

### (熱処理加工部門)

熱処理加工部門は、輸送機器業界の輸出の増加により、

自動車部品を中心にタフトライド加工やパルソナイト加工の受注が好調に推移し、弱電関連部品などの処理加工も増加いたしました結果、当部門の売上高は3,584百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

#### （装置部門）

装置部門は、企業収益の改善を背景に設備投資が増加するなか、輸送機器関連業界を中心に金属表面処理装置の受注が増加するとともに、プレートコイル(板状熱交換器)の販売も順調に推移いたしました結果、当部門の売上高は3,278百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

今期中間配当につきましては、11月17日開催の取締役会において、1株につき5円とし、支払開始日を12月10日とすることに決定いたしました。

下半期につきましては、景気は引き続き堅調に推移すると予測されておりますが、原油価格の動向が内外経済に与える影響や原材料価格の高騰による景気の減速が懸念される状況にあります。

当社といたしましては、市場における技術的優位性を維持し、新市場の創造に繋がる研究開発を引き続き推進するとともに、全社におけるISO14001の認証取得に取り組み、企業体質の強化と収益の向上に全社一丸となって取り組む所存であります。

株主各位におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長

里見菊雄

## 会 社 の 概 要 (平成16年9月30日現在)

設立	昭和3年7月12日
資本金	4,560,391,551円
発行済株式の総数	66,302,262株
発行する株式の総数	120,000,000株
従業員数	910名

### 事 業 内 容

薬品部門：金属表面処理剤、工業用洗剤、金属圧延潤滑剤、圧延油、塗料、金属熱処理剤などの製造、販売

防錆加工部門：防錆・塗料下地加工、塗装、ウェザーコート加工、固体潤滑処理などの処理加工

熱処理加工部門：タフトライド加工（軟窒化処理）、パルソナイト加工（低温窒化処理）、浸炭加工、NCCコート加工（複合ニッケルメッキ処理）などの処理加工

装置部門：表面処理装置、塗装機器、公害防止装置、プレートコイル（板状熱交換器）、機能ガラス（熱線反射・防音）などの製造、販売

### 役 員

代表取締役社長	里見菊雄
専務取締役	里見多一
専務取締役	服部恭一
常務取締役	高野勝文
常務取締役	小野駿
常務取締役	伊藤善和
取締役	小林幹男
取締役	岩松勝男
取締役	森満壽男
取締役	羽立圭爾
取締役	里見康夫
取締役	青木智幸
取締役	宮脇憲修
取締役	諸我修
常勤監査役	工藤敏暢
監査役	蓮井俊
監査役	松尾翼
監査役	森田茂武

# 中間貸借対照表

(平成16年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	26,529	流動負債	16,099
現金・預金	6,379	支払手形	401
受取手形	6,169	買掛金	6,701
売掛金	8,846	短期借入金	2,890
有価証券	100	一年以内返済予定の長期借入金	1,330
製品・商品	593	未払金	1,300
原材料・貯蔵品	972	未払法人税等	1,002
仕掛品	320	未払消費税等	199
前払費用	140	未払費用	303
繰延税金資産	243	前受金	75
短期貸付金	931	預り金	34
その他	1,590	賞与引当金	1,195
貸倒引当金	258	子会社整理損失引当金	650
	△16	その他	15
固定資産	39,537	固定負債	12,019
有形固定資産	15,561	長期借入金	4,265
建物	4,399	退職給付引当金	7,220
構築物	321	役員退職慰労引当金	429
機械装置	1,806	その他	104
車輛運搬具	92		
器具備品	514	負債合計	28,118
土地	8,405		
建設仮勘定	22	(資本の部)	
無形固定資産	85	資本金	4,560
投資その他の資産	23,890	資本剰余金	3,912
投資有価証券	12,987	資本準備金	3,912
子会社株式	6,253	利益剰余金	25,561
出資	842	利益準備金	1,140
長期貸付金	3,146	任意積立金	21,508
保証金	357	配当特別積立金	500
繰延税金資産	11	研究積立金	500
その他	404	固定資産圧縮積立金	908
貸倒引当金	△113	別途積立金	19,600
		中間未処分利益	2,912
		その他有価証券評価差額金	3,944
		自己株式	△30
資産合計	66,067	資本合計	37,948
		負債及び資本合計	66,067

- (注) 1. 子会社に対する短期金銭債権は、2,160百万円であります。  
 2. 子会社に対する長期金銭債権は、2,257百万円であります。  
 3. 子会社に対する短期金銭債務は、488百万円であります。  
 4. 子会社に対する長期金銭債務は、13百万円であります。  
 5. 有形固定資産の減価償却累計額は、23,251百万円であります。  
 6. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、電子計算機および事務用機器・車輛等の一部については、リース契約により使用しております。  
 7. 出資金には、子会社に対する出資金 482百万円を含んでおります。  
 8. 受取手形裏書譲渡残高は、31百万円であります。  
 9. 保証債務は、7,999百万円であります。  
 10. 子会社整理損失引当金 650百万円および役員退職慰労引当金 429百万円は、商法施行規則第43条に規定する引当金であります。  
 11. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額は、3,944百万円です。

# 中間損益計算書

(自平成16年4月1日)

(至平成16年9月30日)

科		目	金額		
経常損益の部	営業損益の部	営業収益高	百万円	百万円 19,629	
		営業費用 売上原価 販売費・一般管理費	12,809 5,028	17,837	
		営業利益	1,791		
	営業外損益の部	営業外収益			
		受取利息 受取配当金 受取賃料 受取技術料 雑収	53 422 91 175 180		922
		営業外費用 支払利息 雑費	31 41		72
		経常利益	2,641		
		特別損益の部	特別利益 投資有価証券売却益 貸倒引当金戻入益	2 0	
	特別損失 固定資産売却・除却損 子会社整理損失引当金繰入額 投資有価証券売却損 減損損失 会員権評価損 その他		21 110 22 455 1 1		611
	税引前中間純利益		2,032		
法人税、住民税及び事業税	1,023				
法人税等調整額	△305			718	
中間純利益	1,314				
前期繰越利益	1,598				
中間未処分利益	2,912				

- (注) 1. 子会社への売上高は、765百万円であります。  
 2. 子会社からの仕入高は、3,382百万円であります。  
 3. 子会社との営業取引以外の取引高は、470百万円であります。  
 4. 1株当たりの中間純利益は、19円84銭であります。

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資 産 の 部)</b>		<b>(負 債 の 部)</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>48,732</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>32,585</b>
現金及び預金	13,741	支払手形及び買掛金	14,456
受取手形及び売掛金	26,665	短期借入金	6,336
有価証券	100	一年以内返済の長期借入金	2,704
たな卸資産	6,275	未払法人税等	1,779
繰延税金資産	1,061	賞与引当金	1,885
その他	1,045	子会社整理損失引当金	50
貸倒引当金	△157	その他	5,373
<b>固 定 資 産</b>	<b>54,521</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>22,942</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>32,662</b>	長期借入金	11,026
建物及び構築物	10,387	退職給付引当金	10,631
機械装置	6,780	役員退職慰労引当金	524
及び運搬具	14,193	連結調整勘定	226
土地	184	その他	533
建設仮勘定	1,116		
<b>無形固定資産</b>	<b>1,245</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>55,527</b>
投資その他の資産	20,613	<b>(少数株主持分)</b>	<b>4,763</b>
投資有価証券	16,491	<b>(資 本 の 部)</b>	
長期貸付金	855	資本金	4,560
繰延税金資産	1,846	資本剰余金	3,951
その他	2,049	利益剰余金	32,087
貸倒引当金	△629	その他有価証券	4,259
<b>繰 延 資 産</b>	<b>2</b>	評価差額金	△1,359
		為替換算調整勘定	△534
		自己株式	△534
		<b>資 本 合 計</b>	<b>42,964</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>103,256</b>	<b>負債、少数株主持分 及び資本合計</b>	<b>103,256</b>

- (注) 1. 減価償却累計額 40,426  
 2. 受取手形割引高 832  
 3. 偶発債務（債務保証） 1,049  
 4. 担保資産 4,348  
 5. 自己株式数 1,491 千株

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	37,891
売上原価	24,964
売上総利益	12,927
販売費及び一般管理費	8,595
営業利益	4,331
営業外収益	817
受取利息	33
受取配当金	136
受取貸料	78
受取技術料	132
持分法による投資利益	209
雑収	226
営業外費用	244
支払利息	127
雑費用	117
経常利益	4,904
特別利益	31
特別損失	1,781
税金等調整前中間純利益	3,153
法人税、住民税及び事業税	1,617
少数株主損失	272
中間純利益	1,808

(注) 1. 特別利益の主な内訳

固定資産売却益	6
投資有価証券売却益	4
貸倒引当金戻入益	16

2. 特別損失の主な内訳

固定資産売却・除却損	32
投資有価証券売却損	22
子会社整理損失引当金繰入額	50
減損損失	1,666

3. 中間連結会計期間における税金費用については、一部の会社で簡便法により計算しているため法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

## 株 主 メ モ

決 算 期	毎年3月31日
株 主 総 会	(1) 定時 毎年6月 (2) 臨時 必要あるときに開催
配 当 金	毎決算期の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載されている株主にお支払いいたします。 なお、中間配当金の支払いを行うときの中間配当金受領株主確定日は毎年9月30日です。
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 決算公告については、当社ホームページ( <a href="http://www.parker.co.jp">http://www.parker.co.jp</a> )に掲載いたします。
名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120 (232) 711 各種手続き用紙のご請求は下記の電話をご利用ください。 電話 0120 (244) 479
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本・支店